



Ma jolieは小さな頃から文章を書くことが好きで、小学校に入る頃から色々な物語を書いていた。又彼女の父がエンジニアだったこともあり、いつも一緒に物を作った。書くこと作ることで伝えたいことを表現する、それは大人になっても変わらずにいた。

彼女の物の作り方は最初に伝えたい想いがある。

それは自然、地球、時事情勢、宇宙、経済などあらゆる広範囲であり
楽しみのないところに楽しみを造り出したい、生きていることは最高に楽しいということを伝えたいという、強い情熱がある。

伝えたいことがある時、言葉だけでは空気の中に溶け込んで霞のようになってしまう。
大切なことを伝えても、受けとめる側はイメージがちゃんと受信できないと伝わらなかつたり、忘れられてしまったりすると感じたことから、自分の言葉を物体化しようと思った。

いつでもそこに三次元で存在し、目にすること、触れることで静かに永遠にメッセージを発信することができる。

彼女のアートは手の届かない、敷居の高いものではなく、日々、一生懸命に働いている人達がそれをバッグの中、あるいはポケットの中から取り出した時、自由で豊かで優しい気持ちになれるもの。労働で疲れている人達も見れば元気になり、また、自分の本当の夢を思い出させるようなもの。人種や性別、年齢、国籍、宗教などの全てを越えて、皆の心の御守りであるようなどこにも見たことがない
手にした時、探していたものはこれだったんだ、、というようなものでありたい。

彼女はそんな祈りをこめて制作している。